

平成31年2月20日

足立区立第九中学校
学校長 長塚 琢磨 様

足立区立第九中学校 開かれた学校づくり協議会
会長 池田 博己

平成30年度 学校関係者評価書

1. 自己評価書全般について

- 学校の現状、成果と課題、重点的な取組事項等が、昨年同様わかりやすく作られている。
- 重点的な取組事項については、目標が正しく数値化され、実施結果も具体的でわかりやすい。
- 「達成せず」が4つあったのは残念だが、「十分に達成」が4つあったのは好結果と言える。

2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

○重点目標1…学力向上

補充的学習の充実で基礎学力15ポイント向上し、目標値を5ポイント上回った点は評価できる。ところが、区学力調査通過率65%の目標に対し55.6%と低く、昨年比9.3ポイントダウンは問題といえる。一方、区全体としても9.2ポイント下がっているため、今年の出題難易度が高かったものと推察する。しかし、真の原因を究明し、次年度に向けて的確な改善策を講じて欲しい。

○重点目標2…健全育成

生徒の自己評価を見ると、自己肯定感が目標値70%に対して、78.0%と好結果であり、特に3年生においては85.1%と大きく上回っている。学習活動への意欲は「学習への努力率」が目標の85%に対し、84.9%とおおむね達成している。「人のためになる活動」も84.4%と良好で、「行事等の頑張り」も95.0%とほぼ満点に近く申し分ない。引き続き先生方の努力と工夫をお願いしたい。

○重点目標3…体力向上

小学校との連携による児童・生徒の体力向上及び意欲的・主体的な生徒の育成を掲げ、スーパーアクティブスクールとして活動し、発表会も開催された。生徒の自己評価では、「体力の高まり」83.3%、「学校生活に満足」88.6%、「小中交流と社会貢献」70.4%との好結果を得た。特に体力では全国平均を超え、3年生の学校生活での満足度が94.7%と驚異的な数字であった。

○保護者・地域への期待

恒例となった全教員と協議会との面談が10月にあり、出席率も高く、今年も有意義な情報交換ができた。このように引き続き実施することで、より良い学校経営に活かしてほしい。

3. その他

- 弁論大会が開催されなかったのは残念だったが、相変わらず文化祭での英語劇などの発表は素晴らしいものが多く、毎回感動をいただく。また、上級生になるにつれてレベルが高くなっているのが明確で、着実に成長していることが窺える。運動会も生徒中心に活動し、しっかりと締まった良い運動会であった。数値にも出ているが、生徒たちの学校生活での充実度が理解できる。
- 全体としてだが、特に2年生の自宅での学習時間に懸念があり、ここの改善が課題といえる。